

第9分科会

## 教科(英語)

Lets enjoy English!

〜英語で遊んで学ぼう(大人 Version)〜

講師からアメリカやイギリスの文化について、写真を見ながら英語で紹介を受けた。地域の祭りの様子や料理の特徴など異文化理解に役立つ情報が得られ、有意義であった。イギリス英語、アメリカ英語ともに現地で習得した「生の英語」に触れることができた。また映画「アナと雪の女王」の主題歌を全員で英語で歌うなど、「英語のシャワー」を存分に浴びることができた。



第10分科会

## 教科(社会)

デジタル黒板を活用した授業について

〜明日から授業に活かせる

デジタル教材をつくるう!

東京書籍の方からデジタル教科書の使い方やその効果について説明をしていただいた。その後各自持ち寄った資料をもとに、楽しみながらデジタル教材を作った。質問も多く出て、普段先生方が知りたい情報も提供できた。

またICTの活用では、資料の提示のしかたを詳しく学ぶことができ、生徒にどのような活動をさせるか、またどのような効果があるかを知ることができる有意義な研修となった。



第11分科会

## 今日的課題

自然と人が元気になる

「ふるさと学習」とは

福井県はほとんどの市町が、人口減少・少子高齢化」という悩みを抱えている。「ふるさと学習」が一つの解決策になるのではないかと、考えて岡山県の過疎の村、西栗倉村の小学校の「ふるさと元氣学習」の実践を紹介してもらった。自分たちの村を元気にしていこうと、村民や行政を巻き込みながら学習を進めた実践内容に参加者からの共感が寄せられた。アンケートには、「若い先生たちのふるさとを思う熱い気持ちを受けて、自分たちががんばらないといけない。」というような感想が多く見られた。福井県内に「ふるさと元氣学習」が広がるきっかけとなったのではないだろうか。



第12分科会

## 母と女性教職員の会

保護者と教職員が手をつなぎ、子どもたちのしあわせな未来のために、今、何をすべきか、ともに考え、行動しましょう。

実践発表を通して、各校のとりくみを知ることができ、参考になったとの感想が多かった。特に地域とのつながりや関わりの充実を図っている事例や幼・保・小・中を通しての実践例に関心が集まった。その後のグループ協議では、和やかな雰囲気でのいろいろな立場の方との意見交換ができた。「すばらしい意見をもった教員がいるのがわかり、保護者として安心した。」という意見や、「地域とつながる中での実践で、子どもたちのふるさとに対する愛を育んでいることが伝わった。」との意見があり、保護者と教職員のつながりの大切さを感じることができた。

